

科目番号 科目名	項目	到達目標	履修 時間	担当教官
1. 職務の理解	(1)多様なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 	6	美島 めぐみ / 舟橋 美千代 水野 忍
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解			美島 めぐみ / 舟橋 美千代 水野 忍
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ・虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。 	9	江端 朗夫 浅井 あゆみ
	(2)自立に向けた介護			江端 朗夫 浅井 あゆみ
3. 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる。 ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列挙できる。 ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。 ・生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 ・介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列挙できる。 	6	江端 朗夫 / 舟橋 美千代 水野 忍
	(2)介護職の職業倫理			江端 朗夫 / 舟橋 美千代 水野 忍
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント			江端 朗夫 / 舟橋 美千代 水野 忍
	(4)介護職の安全			江端 朗夫 / 舟橋 美千代 水野 忍
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1)介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。 ・介護保険制度や障害者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と修了時の評価ポイント 保険料負担の大枠について列挙できる。例：税が財源の半分であること、利用者負担割合 ・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。 	9	浅井 たみ子 / 浅井 あゆみ 下鶴 紀之
	(2)医療との連携とリハビリテーション			浅井 たみ子 / 浅井 あゆみ 下鶴 紀之

	(3)障害者福祉制度およびその他の制度	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。 ・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。 	浅井 たみ子 / 浅井 あゆみ 下鶴 紀之
5. 介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。 ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職としてもつべき視点を列挙できる。 	6 高山 こと美 水野 忍 高山 こと美 水野 忍
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。 ・記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。 ・対人援助におけるコミュニケーションの意義と目的を考える。 	
6. 老化の理解	(1)老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化について列挙できる。例：退職による社会的立場の喪失感、運動機能の低下による無力感や羞恥心、感覚機能の低下によるストレスや疎外感、知的機能の低下による意欲の低下等 ・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。 	6 江端 ひとみ 美島 めぐみ 江端 ひとみ 美島 めぐみ
	(2)高齢者と健康		
7. 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。 ・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。 ・認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。 ・認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、および介護の原則について列挙できる。また、同様に、若年性認知症の特徴についても列挙できる。 ・認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。 ・認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。例：生活習慣や生活様式の継続、なじみの人間関係やなじみの空間、プライバシーの確保と団らんの場の確保等、地域を含めて生活環境とすること ・認知症の利用者とのコミュニケーション（言語、非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方（良い関わり方、悪い関わり方）を概説できる。 ・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙できる。 	6 浅井 たみ子 下鶴 紀之 浅井 たみ子 下鶴 紀之 浅井 たみ子 下鶴 紀之
	(2)医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理		
	(3)認知症にともなうところとからだの変化と日常生活		
	(4)家族への支援		

8.障害の理解	(1)障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICFについて概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 ・障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。 	3	浅井 あゆみ 下鶴 紀之
	(2)障害の医学的側面，生活障害などの基礎知識			浅井 あゆみ 下鶴 紀之
	(3)家族の心理，かかわり支援の理解			浅井 あゆみ 下鶴 紀之
9. ことごとからだのしくみと生活支援技術	基礎知識の学習			
	(1)介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・介護が倫理的、また法的にどのような変遷をたどってきたか理解する。 	10	江端 ひとみ / 浅井 あゆみ 美島 めぐみ / 高山 こと美
	(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。 		浅井 たみ子 / 江端 ひとみ 美島 めぐみ / 高山 こと美
	(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。 		浅井 たみ子 / 江端 ひとみ 高山 こと美
	基礎知識の学習			
	(4)生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を継続していくための家事の重要性を学ぶ ・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。 ・家事援助とは何かについて具体的に考える。 		江端 朗夫 / 高山 こと美 水野 忍
	(5)快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。 		江端 朗夫 / 高山 こと美 水野 忍
	(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。 		舟橋 美千代 / 高山 こと美 水野 忍
	(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 		浅井 あゆみ / 美島 めぐみ 高山 こと美

	(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。	54	浅井 たみ子 / 江端 ひとみ 美島 めぐみ / 高山 こと美
	(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。		浅井 たみ子 / 美島 めぐみ 舟橋 美千代 / 水野 忍
	(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・排泄が自立する意義と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙できる。排泄に関するからだのしくみが理解され、利用者のADL状態や思いに寄り添った介助を行うことができる。 ・オムツの支援が安全、安楽にできる。		浅井 たみ子 / 浅井 あゆみ 美島めぐみ
	(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。		浅井 たみ子 / 江端 ひとみ 浅井 あゆみ / 舟橋 美千代 水野 忍
	(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について、列挙できる。		浅井 たみ子 江端 ひとみ
	II 生活支援技術講習の講義・演習			
	(13)介護過程の基礎的理解	・介護課程の存在を知り、介護計画に沿ったと統一された支援を行う重要性を理解することができる。 ・さまざまな利用者の状態に合わせた支援方法を検討し、それが可能な技術を身に付ける。 ・実技テストに合格する。	11	浅井 あゆみ / 美島 めぐみ 舟橋 美千代 / 高山 こと美
	(14)総合生活支援技術演習			浅井 あゆみ / 美島 めぐみ 高山 こと美
10. 振り返り	(1)振り返り	・介護職としてどうあるべきか尊厳とは、人権とは、利用者主体とは実際にどうすることかを列挙、実行できる。	4	江端 ひとみ 高山 こと美
	(2)就業への備えと研修修了後における継続的な			江端 ひとみ 高山 こと美